

# 全青色傷害

傷害補償(MS&AD型)特約付  
団体総合生活補償保険  
共済給付金

## 制度の特長



月額 **1,250円**



**入院・通院1日目から補償!**

- ◎ 団体割引適用
- ◎ お仕事中から日常生活まで24時間補償(国内・国外を問わず)
- ◎ 地震・噴火またはこれらを原因とする津波によるケガも保障(補償)
- ◎ **75才(6ヵ月)まで新規加入可能!**

全青色傷害は、  
こんなに  
お役に立っています。

平成24年度支払実績

約 **13**人に**1**人が給付・見舞金(保険金)を請求されています。

支払総額

**2億,2315万円**

お申し込み、ご相談は

一般社団法人 全国青色申告会総連合

平成26年 **12月スタート** 補償開始

保険期間

平成26年12月1日午後4時より  
平成27年12月1日午後4時まで

申込締切日 平成26年 9月30日(火)  
初回口座振替日 平成26年11月27日(木)

平成27年 **6月スタート** 補償開始

補償期間(中途加入)

平成27年 6月1日午後4時より  
平成27年12月1日午後4時まで

申込締切日 平成27年 3月31日(火)  
初回口座振替日 平成27年 5月27日(水)

共済制度引受団体 一般社団法人 全国青色申告会総連合 東京都千代田区神田駿河台2-9 TEL 03-3294-2301  
団体総合生活補償保険引受保険会社 三井住友海上火災保険(株) 広域法人部営業第三課 東京都千代田区神田駿河台3-11-1 TEL 03-3259-6694  
団体総合生活補償保険取扱代理店 (株)ゼンアオイロ 東京都千代田区神田駿河台2-9 TEL 03-3294-2301

\*当制度は、青色申告会会員、専従者、従業員ならびにそれぞれのご家族の皆さまのみを対象(P3を参照ください)としています。  
一般の方は、ご加入はできません。

事故にあわれたら

ご所属の青色申告会を通して、取扱代理店または引受保険会社へご連絡ください。



# 制度の特長

## 「全青色傷害」の主な特長

- 1 団体契約による割引**
- 2 お仕事から日常生活までケガを24時間補償** (国内・海外を問わず)  
天災危険補償特約付で地震等の天災による傷害死亡・後遺障害も補償
- 3 自動更新**で期限切れの心配なし  
半年ごとの掛金口座振替で毎年自動継続 (80才6ヵ月で規約脱退)
- 4 簡単な保険金請求**  
10万円以下の保険金をご請求の場合、診断書の提出は原則不要

## こんなときにお役に立ちます!

**お工作中的のケガ**

職場でのケガ      移動中にケガ

**日常生活のケガ**

家事によるケガ      歩行中のケガ

地震・噴火またはこれらを原因とする津波で死亡

※ 傷害死亡・後遺障害のみ補償

**レジャーのケガ**

スポーツでのケガ      海や山でのケガ

**乗物によるケガ**

車によるケガ      自転車によるケガ

火災による建物等の損害 (共済)

## お支払い例 3口ご加入の場合

**事例 1** 職場で捻挫し、3日間通院した場合

通院も1日目からお支払い

傷害通院保険金日額

4,500円×3日間=



受取保険金合計

**13,500円**

**事例 2** 車にハネられ足を複雑骨折し、10日間入院(手術あり)退院後20日間通院した場合

相手方の賠償に関係なくお支払い

傷害入院保険金日額… 9,000円×10日=90,000円

傷害手術保険金… 9,000円×10倍=90,000円

傷害通院保険金日額… 4,500円×20日=90,000円



受取保険金合計

**27万円**

支払実績

「全青色傷害」はこんなにお役に立っています。

平成24年度支払実績のご紹介

支払総額 **2億2,315万円**

主な内訳

- 死亡 1,800万円      ○後遺障害 1億1,445万円
- 入院 2,090万円      ○通院 6,478万円

加入者約13人に1人が保険金請求

お支払総額は約2億円。請求された加入者は在籍者の約13.5%、13人に1人にもなります。

特に「通院」の場面でお役に立っています。

通院保険金の支払額は全体の約29%ですが、件数は全体の約76%。通院日数10日未満がその約39%を占めます。打撲や捻挫、火傷など身近なケガでお役に立ちます。

## 保険金額・共済給付金額

口数(掛金月額)		1口(1,250円)	2口(2,500円)	3口(3,750円)	
加入できる年齢		14才6ヵ月超～ 75才6ヵ月以下の方	14才6ヵ月超～ 70才6ヵ月以下の方	14才6ヵ月超～ 65才6ヵ月以下の方	
団体総合生活補償保険	死亡した場合 傷害死亡保険金	地震もしくは噴火 またはこれらによる 津波以外の場合	600万円	1,200万円	1,800万円
		地震もしくは噴火 またはこれらによる 津波の場合	300万円	600万円	900万円
	後遺障害の場合 傷害後遺障害保険金	地震もしくは噴火 またはこれらによる 津波以外の場合	65才6ヵ月以下の方		
			24万円～600万円	48万円～1,200万円	72万円～1,800万円
		65才6ヵ月超の方			
	12万円～300万円	24万円～600万円	—		
	地震もしくは噴火 またはこれらによる 津波の場合	12万円～300万円	24万円～600万円	36万円～900万円	
入院した場合 傷害入院保険金日額 <b>1日目から、180日限度</b>	1日あたり	3,000円	6,000円	9,000円	
手術した場合 傷害手術保険金	①入院中に受けた手術〔傷害入院保険金日額〕×10倍 ②入院中以外に受けた手術〔傷害入院保険金日額〕×5倍				
通院した場合 傷害通院保険金日額 <b>1日目から、90日限度</b>	1日あたり	1,500円	3,000円	4,500円	
共済 火災にあわれた場合 火災見舞金額(損害額が3万円以上のとき)	75才6ヵ月以下の方まで 加入者1人あたり <b>10万円</b>				

※火災見舞金は一般社団法人 全国青色申告会総連合の共済給付金額です。それ以外は団体総合生活補償保険の保険金となります。  
 ※被保険者(補償の対象者)となる方の範囲は、全国の青色申告会会員、専従者、従業員およびそのご家族(配偶者、子供、両親、兄弟姉妹および本人と同居している親族ならびに使用人)をいいます。

## 掛金の税務上の取扱い

掛金の税務上の取扱いは、その事業所の加入状況等により異なります。

加入者	勘定科目
事業者	事業主貸
専従者	事業主貸
従業員	福利厚生費
専従者と従業員	福利厚生費(注1)
家族	事業主貸

(注1) 専従者は他の従業員と同様の補償内容である場合、従業員とあわせて必要経費に計上できます。



さらに 疾病入院の補償をご希望の場合は青色申告会の取扱う「疾病入院補償制度」パンフレットをご覧ください。



青色申告会会員、専従者、従業員ならびにそれぞれのご家族の方がご加入できます  
(14才6ヵ月超75才6ヵ月以下の方)。

- お申込人となれる方は青色申告会会員に限りです。
- この制度で被保険者(補償の対象者)となれる方の範囲は、青色申告会会員、専従者、従業員およびそのご家族(配偶者、子供、両親、兄弟姉妹および本人と同居している親族ならびに使用人をいいます。)です。
- 補償開始時点において(平成26年12月1日または平成27年6月1日)、年齢が14才6ヵ月超75才6ヵ月以下の方が加入できます。
- 最高3口まで加入できます。ただし補償開始日時点において、65才6ヵ月超70才6ヵ月以下の方は2口まで、70才6ヵ月超の方は1口までの加入となります。
- 加入申込票・口座振替依頼書に必要事項を記入押印のうえ、ご所属の青色申告会へお申し込みください。
- 補償(保険)期間は補償開始日(平成26年12月1日または平成27年6月1日午後4時)から平成27年12月1日午後4時までで、以後継続停止(脱退)のお申し出がない限り、1年間の補償(保険)期間で自動継続となります。ただし、基準日現在の年齢に応じ、上記の加入口数制限で規約により減口されますのでご了承ください。

- 全青色傷害では、所属の青色申告会において毎年12月1日または6月1日の補償開始にあわせて脱退(解約)の申し出をとりまわっています(パンフレット9ページ「注意喚起情報のご説明」における「」内に該当する場合は除きます)。詳しくはご所属の青色申告会にお問い合せください。
- 脱退(解約)日は毎年12月1日または6月1日となります。それまでの期間中は、補償が継続されます。
- 最初の補償開始日(12月1日または6月1日)を基準とし、基準日現在、年齢が80才6ヵ月を超えた時に規約により脱退となります。

〈自動継続の取扱いについて〉

- 前年からご加入の皆さまについては、加入内容の変更や継続停止のご連絡がない場合、今回の募集においては前年ご加入の内容に応じたセット(補償内容)での自動継続加入の取扱いとさせていただきます。

保険契約者である一般社団法人全国青色申告会総連合から引受保険会社へは保険料を一時払で支払います。お申込みいただいたご加入者は、半年ごと掛金としてお支払いいただけます。

なお、掛金は、6ヵ月前納です(半年に1回、口座振替となります)。口座振替は、5月・11月の27日です。27日が休業日の場合は翌営業日となります。通帳印字は、「アオショウガイ」「NICOS」「ニコス」「クレジット」等となります。

個人情報取扱いについて

『全青色傷害』制度に関する個人情報について、一般社団法人 全国青色申告会総連合(以下全青色)【A】ならびに引受保険会社【B】が次の取り扱いを行うことに同意のうえお申し込みください。なお、今後、個人情報に変更等が発生した際にも、引続き、全青色および引受保険会社においてそれぞれ上記に準じた個人情報が取り扱われます。

【A】全青色(保険契約者)は、『全青色傷害』の契約に基づく申込書類に記載の個人情報(事業所名、事業主名、事業所住所、事業所電話番号、加入者氏名、加入資格、生年月日、加入口数、職業・職務、他のケガの危険を補償する保険契約の内容および保険金請求・受領状況等)をその契約の履行のためにのみ使用し、他の目的には使用しません。また、全青色は、契約により保険契約を締結する引受保険会社(三井住友海上火災保険株式会社)に提出します。

一般社団法人 全国青色申告会総連合

【B】本保険契約に関する個人情報は、引受保険会社が本保険引受の審査および履行のために利用するほか、引受保険会社およびMS&ADインシュアランスグループのそれぞれの会社から、本保険契約以外の商品・サービスのご案内・ご提供や保険引受の審査および保険契約の履行のために利用したり、提携先・委託先等の商品・サービスのご案内のために利用することがあります。

ただし、保健医療等の特別な非公開情報(センシティブ情報)の利用目的は、保険業法施行規則に従い、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる範囲に限定します。

また、本保険契約に関する個人情報の利用目的の達成に必要な範囲内で、業務委託先(保険代理店を含む)、保険仲立人、医療機関、保険金の請求・支払いに関する関係先等に提供することがあります。

詳細は、三井住友海上ホームページ(<http://www.ms-ins.com>)をご覧ください。三井住友海上火災保険株式会社

保険金(見舞金)の種類と保険金をお支払いする場合[口数ごとの保険金額、共済給付金額と月額掛金]

※印を付した用語については、パンフレット6ページ記載の「※印の用語のご説明」をご覧ください。(各欄の初出時のみ※印を付しています。)

		保 険 金 額			
		1口(1,250円)	2口(2,500円)	3口(3,750円)	
傷 害 保 険 金	<b>1.傷害死亡保険金</b> ★傷害補償(MS & AD型)特約 ☆天災危険補償特約一部セット 保険期間中の事故によるケガ*のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合、傷害死亡・後遺障害保険金額の全額を傷害死亡保険金受取人(定めなかった場合は被保険者の法定相続人)にお支払いします。 (注)既にお支払いした傷害後遺障害保険金がある場合は、傷害死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした金額を差し引いた残額となります。	地震もしくは噴火またはこれらによる津波以外の場合	600万円	1,200万円	1,800万円
	地震もしくは噴火またはこれらによる津波の場合	300万円	600万円	900万円	
	右記の場合により保険金額が異なります	傷害後遺障害保険金	65才6ヵ月以下の方		
			24万円～600万円	48万円～1,200万円	72万円～1,800万円
<b>2.傷害後遺障害保険金</b> ★傷害補償(MS & AD型)特約 ☆天災危険補償特約一部セット 保険期間中の事故によるケガ*のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に後遺障害*が生じた場合、後遺障害*の程度に応じて、傷害死亡・後遺障害保険金額の100%～4%をお支払いします。 (注1)政府労災保険に準じた等級区分ごとに定められた保険金支払割合で、傷害後遺障害保険金をお支払いします。 (注2)被保険者が事故の発生の日からその日を含めて180日を超えてなお治療*を要する状態にある場合は、引受保険会社は、事故の発生の日からその日を含めて181日目における医師*の診断に基づき後遺障害の程度を認定して、傷害後遺障害保険金をお支払いします。 (注3)同一の部位に後遺障害を加重された場合は、既にあった後遺障害に対する保険金支払割合を控除して、保険金をお支払いします。 (注4)既にお支払いした傷害後遺障害保険金がある場合は、傷害死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした金額を差し引いた残額が限度となります。また、保険期間を通じてお支払いする傷害後遺障害保険金は、傷害死亡・後遺障害保険金額が限度となります。	地震もしくは噴火またはこれらによる津波以外の場合	65才6ヵ月超の方			
	地震もしくは噴火またはこれらによる津波の場合	12万円～300万円	24万円～600万円	—	
		12万円～300万円	24万円～600万円	36万円～900万円	

傷 害 保 険 金	<h3>3.傷害入院保険金</h3> <p>★傷害補償(MS &amp; AD型)特約</p> <p>保険期間中の事故によるケガ*のため、入院*された場合(以下、この状態を「傷害入院」といいます。)、[傷害入院保険金日額]×[傷害入院の日数]をお支払いします。</p> <p>(注1) 傷害入院の日数には以下の日数を含みません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の発生の日からその日を含めて支払対象期間*(1,095日)が満了した日の翌日以降の傷害入院の日数</li> <li>・1事故に基づく傷害入院について、傷害入院保険金を支払うべき日数の合計が支払限度日数*(180日)に到達した日の翌日以降の傷害入院の日数</li> </ul> <p>(注2) 傷害入院保険金をお支払いする期間中にさらに傷害入院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ*を被った場合は、傷害入院保険金を重ねてはお支払いしません。</p>	傷害入院保険金(日額)	1日あたり <b>3,000円</b>	1日あたり <b>6,000円</b>	1日あたり <b>9,000円</b>
	<h3>4.傷害手術保険金</h3> <p>★傷害補償(MS &amp; AD型)特約</p> <p>保険期間中の事故によるケガ*の治療*のため、傷害入院保険金の支払対象期間*(1,095日)中に手術*を受けられた場合、1回の手術*について、次の算式によって算出した額をお支払いします。</p> <p>①入院*中に受けた手術の場合 [傷害入院保険金日額]×10</p> <p>②①以外の手術の場合 [傷害入院保険金日額]×5</p> <p>(注)次に該当する場合のお支払方法は下記のとおりとなります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①同一の日に複数回の手術を受けた場合 傷害手術保険金の額の高いいずれか1つの手術についてのみ保険金をお支払いします。</li> <li>②1回の手術を2日以上にわたって受けた場合 その手術の開始日についてのみ手術を受けたものとします。</li> <li>③医科診療報酬点数表に手術料が1日につき算定されるものとして定められている手術に該当する場合 その手術の開始日についてのみ手術を受けたものとします。</li> <li>④医科診療報酬点数表において、一連の治療過程で複数回実施しても手術料が1回のみ算定されるものとして定められている区分番号に該当する手術について、被保険者が同一の区分番号に該当する手術を複数回受けた場合 その手術に対して傷害手術保険金が支払われることとなった直前の手術を受けた日からその日を含めて14日以内に受けた手術に対しては、保険金をお支払いしません。</li> </ol>	入院中に受けた手術 傷害手術保険金	<b>傷害入院保険金日額の 10倍</b>		
	<h3>5.傷害通院保険金</h3> <p>★傷害補償(MS &amp; AD型)特約</p> <p>保険期間中の事故によるケガ*のため、通院*された場合(以下、この状態を「傷害通院」といいます。)、[傷害通院保険金日額]×[傷害通院の日数]をお支払いします。</p> <p>(注1) 通院されない場合で、骨折、脱臼、靭(じん)帯損傷等のケガを被った所定の部位*を固定するために医師*の指示によりギブス等*を常時装着したときは、その日数について傷害通院したものとみなします。</p> <p>(注2) 傷害通院の日数には以下の日数を含みません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の発生の日からその日を含めて支払対象期間*(180日)が満了した日の翌日以降の傷害通院の日数</li> <li>・1事故に基づく傷害通院について、傷害通院保険金を支払うべき日数の合計が支払限度日数*(90日)に到達した日の翌日以降の傷害通院の日数</li> </ul> <p>(注3) 傷害入院保険金をお支払いする期間中に通院された場合は、傷害通院保険金をお支払いしません。</p> <p>(注4) 傷害通院保険金をお支払いする期間中にさらに傷害通院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ*を被った場合は、傷害通院保険金を重ねてはお支払いしません。</p>	傷害通院保険金(日額)	1日あたり <b>1,500円</b>	1日あたり <b>3,000円</b>	1日あたり <b>4,500円</b>
<h3>★火災見舞金</h3> <p>加入申込票に記載した事業所住所または事業所住所以外の現住所に所在する不動産その他の資産について火災により3万円以上の損害が発生したとき、青色申告会から10万円をお支払いします。</p> <p>(注)2口以上加入の場合も10万円となります。なお、火災見舞金の補償は保険年齢75才6ヵ月以下の方までが対象です。</p>	共済給付金額	<b>加入者1人あたり10万円</b>			

## 保険金をお支払いしない主な場合

※印を付した用語については、パンフレット6ページ記載の「※印の用語のご説明」をご覧ください。(各欄の初出時のみ※印を付しています。)

《傷害死亡保険金、傷害後遺障害保険金、傷害入院保険金、傷害手術保険金、傷害通院保険金について》

- 保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失によるケガ\*
- 自殺行為、犯罪行為または闘争行為によるケガ
- 自動車等\*の無資格運転、酒気帯び運転\*または麻薬等を使用している間のケガ
- 脳疾患、病気\*または心神喪失によるケガ
- 妊娠、出産、早産または流産によるケガ
- 外科的手術その他の医療処置によるケガ(ただし、引受保険会社が保険金を支払うべきケガの治療\*によるものである場合には、保険金をお支払いします。)
- 戦争、その他の変乱\*、暴動によるケガ(テロ行為によるケガは、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。)
- 地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガ(天災危険補償特約をセットする一部の傷害死亡保険金、後遺障害保険金はお支払対象となります。)
- 核燃料物質等の放射性・爆発性等によるケガ
- 原因がいかなるときでも、頸(けい)部症候群\*、腰痛その他の症状を訴えている場合に、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見\*のないもの
- 入浴中の溺水\* (ただし、引受保険会社が保険金を支払うべきケガによって生じた場合には、保険金をお支払いします。)
- 原因がいかなるときでも、誤嚥(えん)\*によって生じた肺炎
- パンフレット6ページの「補償対象外となる運動等」を行っている間のケガ
- パンフレット6ページの「補償対象外となる職業」に従事している間のケガ
- 乗用具\*を用いて競技等\*をしている間のケガ

(注)細菌性食中毒およびウイルス性食中毒は、補償の対象にはなりません。

など

- 全青色傷害の一部(1口あたりの傷害死亡・後遺障害保険金額の内訳300万円分)には、天災危険補償特約がセットされているため、地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガ\*のときも、傷害死亡保険金、傷害後遺障害保険金をお支払いします。
- 65才6ヵ月超の方は、契約の一部(1口あたり傷害死亡・後遺障害保険金額300万円部分)に傷害後遺障害保険金対象外特約がセットされているため、傷害後遺障害保険金をお支払いしません。
- すべてのご契約に「条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約」が自動的にセットされ、保険金をお支払いしない場合のうち「戦争、その他の変乱\*、暴動」については、テロ行為はお支払いの対象となります。テロ行為とは、政治的、社会的もしくは宗教・思想的な主義・主張を有する団体・個人またはこれと連帯するものがその主義・主張に関して行う暴力的行動をいいます。
- 柔道整復院(接骨院、整骨院等)による施術の場合、通院日数の認定にあたっては、傷害の部位や程度に応じ、医師の治療に準じて認定し、お支払いします。また、鍼(はり)・灸(きゅう)・マッサージなどの医療類似行為については、医師の指示に基づいて行われた施術のみ、お支払いの対象となります。

## <※印の用語のご説明> 五十音順

あ行:

- 「医学的他覚所見」とは、理学的検査、神経学的検査、臨床検査、画像検査等により認められる異常所見をいいます。

- 「医師」とは、被保険者が医師の場合は、被保険者以外の医師をいいます。

か行:

- 「ギブス等」とは、ギブス、ギブスシーネ、ギブスシャーレ、シーネその他これらに類するもの(硬性コルセット、創外固定器等をいいます。)をいいます。屈曲・伸展等の関節運動が可能な装具等(バストバンド、軟性コルセット、サポーター、頸(けい)椎カラー等)は含まれません。

- 「競技等」とは、競技、競争、興行(\*)または試運転をいいます。また、競技場におけるフリー走行など競技等に準ずるものを含みます。  
(\*)いずれもそのための練習を含みます。

- 「頸(けい)部症候群」とは、いわゆる「むちうち症」をいいます。

- 「ケガ」とは、急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被った傷害をいいます。「急激」とは、「事故が突発的で、傷害発生までの過程において時間的間隔がないこと」を意味します。

- 「偶然」とは、「保険事故の原因または結果の発生が被保険者にとって予知できない、被保険者の意思に基づかないこと」を意味します。

- 「外来」とは、「保険事故の原因が被保険者の身体外部からの作用によること、身体に内在する疾病要因の作用でないこと」を意味します。

- 「傷害」には、身体外部から有毒ガスまたは有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収または摂取した場合に急激に生ずる中毒症状(\*)を含み、次のいずれかに該当するものを含みません。

- ①細菌性食中毒      ②ウイルス性食中毒

- (\*)継続的に吸入、吸収または摂取した結果生ずる中毒症状を除きます。

- 「後遺障害」とは、治療\*の効果が医学上期待できない状態であって、被保険者の身体に残された症状が将来においても回復できない機能の重大な障害に至ったものまたは身体の一部の欠損をいいます。ただし、被保険者が症状を訴えている場合であっても、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見\*のないものを除きます。

- 「誤嚥(えん)」とは、食物、吐物、唾液等が誤って気管内に入ることを入ります。

さ行:

- 「自動車等」とは、自動車または原動機付自転車をいいます。
- 「支払限度日数」とは、支払対象期間\*内において、傷害入院保険金および傷害通院保険金の支払いの限度となる日数をいい、それぞれについて、加入者証等記載の期間または日数とします。

- 「支払対象期間」とは、傷害入院保険金および傷害通院保険金の支払いの対象となる期間をいい、それぞれについて、加入者証等記載の期間または日数をいいます。なお、「傷害入院」が中断している期間がある場合には、その期間を含む継続した期間をいいます。

- 「酒気帯び運転」とは、道路交通法第65条(酒気帯び運転等の禁止)第1項に定める酒気を帯びた状態で自動車等\*を運転することをいいます。

- 「手術」とは、次のいずれかに該当する診療行為をいいます。

- ①公的医療保険制度における医科診療報酬点数表に、手術料の算定対象として列挙されている診療行為(\*1)。ただし、創傷処理、皮膚切開術、デブリードマン、骨または関節の非観血的または徒手的な整復術、整復固定術および授動術ならびに抜歯手術を除きます。

- ②先進医療\*に該当する診療行為(\*2)

- (\*1)①の診療行為には、歯科診療報酬点数表に手術料の算定対象として列挙されている診療行為のうち、医科診療報酬点数表においても手術料の算定対象として列挙されているものを含みます。

- (\*2)②の診療行為は、治療\*を直接の目的として、メス等の器具を用いて患部または必要部位に切除、摘出等の処置を施すものに限り、ただし、診断、検査等を直接の目的とした診療行為ならびに注射、点滴、全身的薬剤投与、局所的薬剤投与、放射線照射および温熱療法による診療行為を除きます。

- 「乗用具」とは、自動車等\*、モーターボート(水上オートバイを含みます。)、ゴーカート、スノーモービル、その他これらに類するものをいいます。

- 「所定の部位」とは、次のいずれかの部位(指、顔面等は含まれません。)をいいます。  
・長管骨(上腕骨、橈骨、尺骨、大腿骨、脛骨および腓骨をいいます。以下同様とします。)または脊柱

- ・長管骨に接続する上肢または下肢の3大関節部分。ただし、長管骨を含めギブス等\*の固定具を装着した場合に限り、

- ・肋骨・胸骨(鎖骨、肩甲骨は含まれません。)。ただし、体幹部にギブス等の固定具を装着した場合に限り、

- 「先進医療」とは、手術\*を受けた時点において、厚生労働省告示に基づき定められている評価療養のうち、別に厚生労働大臣が定めるもの(先進医療ごとに別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合する病院または診療所において行われるもの)に限り、をいいます。なお、先進医療の対象となる医療技術、医療機関および適応症等は、一般の保険診療への導入や承認取消等の事由によって、変動します。

- 「その他の変乱」とは、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変をいいます。

た行:

- 「治療」とは、医師\*が必要であると認め、医師が行う治療をいいます。
- 「通院」とは、病院もしくは診療所に通い、または往診により、治療\*を受けることをいいます。ただし、治療を伴わない、薬剤、診断書、医療器具等の受領等のためのものは含みません。

- 「溺水」とは、水を吸引したことによる窒息をいいます。

な行:

- 「入院」とは、自宅等での治療\*が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師\*の管理下において治療に専念することをいいます。

は行:

- 「病気」とは、被保険者が被ったケガ\*以外の身体の障害をいいます。なお、被保険者が病気によって被ったケガについては、病気として取り扱います。

### 補償対象外となる運動等

山岳登山(\*1)、リュージュ、ボブスレー、スケルトン、航空機(\*2)操縦(\*3)、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗、超軽量動力機(\*4)搭乗、ジャイロプレーン搭乗  
その他これらに類する危険な運動

(\*1)ピッケル、アイゼン、ザイル、ハンマー等の登山用具を使用するもの、ロッククライミング(フリークライミングを含みます。)をいいます。

(\*2)グライダーおよび飛行船を除きます。

(\*3)職務として操縦する場合を除きます。

(\*4)モーターハンググライダー、マイクロライト機、ウルトラライト機等をいい、パラシュート型超軽量動力機(パラプレーン等をいいます。)を除きます。

### 補償対象外となる職業

オートテスター(テストライダー)、オートバイ競争選手、自動車競争選手、自転車競争選手(競輪選手)、モーターボート(水上オートバイを含みます。)競争選手、猛獣取扱者(動物園の飼育係を含みます。)、プロボクサー、プロレスラー、ローラーゲーム選手(レフリーを含みます。)、力士

その他これらと同程度またはそれ以上の危険な職業

なお、上記「対象外となる職業」のうちオートテスター(テストライダー)、オートバイ競争選手、自動車競争選手、自転車競争選手(競輪選手)、モーターボート(水上オートバイを含みます。)競争選手、猛獣取扱者(動物園の飼育係を含みます。)の方で、当該職業に従事するケガの補償をご希望される場合は、所属の青色申告会にご照会ください。

## 保険金(見舞金)の請求方法

### <保険金をお支払いする場合に該当したときの引受保険会社へのご連絡>

- ご所属の青色申告会を通じて、取扱代理店または引受保険会社までご連絡ください。保険金請求の手續につきまして詳しくご案内いたします。  
なお、保険金をお支払いする場合に該当した日から30日以内にご連絡がない場合、もしくは知っている事実を告げなかった場合、または事実と異なることを告げた場合は、引受保険会社はそれによって被った損害の額を差し引いて保険金をお支払いすることがあります。

### <保険金支払いの履行期>

引受保険会社は、保険金請求に必要な書類(\*1)をご提出いただくからその日を含めて30日以内に、保険金をお支払いするために必要な事項の確認(\*2)を終えて保険金をお支払いします。(\*3)

- (\*1) 保険金請求に必要な書類は、「保険金のご請求時にご提出いただく書類」をご参照ください。「代理請求人」が保険金を請求される場合は、被保険者が保険金を請求できない事情を示す書類をご提出いただけます。
- (\*2) 保険金をお支払いする事由の有無、保険金をお支払いしない事由の有無、保険金の算出、保険契約の効力の有無、その他引受保険会社がお支払いすべき保険金の額の確定のために確認が必要な事項をいいます。
- (\*3) 必要な事項の確認を行うために、警察などの公の機関の捜査結果の照会、医療機関など専門機関の診断結果の照会、災害救助法が適用された被災地における調査、日本国外における調査等が必要な場合には、普通保険約款・特約に定める日数までに保険金をお支払いします。この場合、引受保険会社は確認が必要な事項およびその確認を終える時期を被保険者または保険金を受け取るべき方に通知します。

### <保険金のご請求時にご提出いただく書類>

- 被保険者または保険金を受け取るべき方(これらの方の代理人を含みます。)が保険金の請求を行う場合は、事故受付後に引受保険会社から求められる書類をご提出いただけます。ご不明な点については、取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。

### 【ご提出いただく書類】以下書類のうち引受保険会社が求めるもの

- ・引受保険会社所定の保険金請求書
  - ・引受保険会社所定の同意書
  - ・事故原因・損害状況に関する資料
  - ・被保険者またはその代理人の保険金請求であることを確認するための資料(住民票、健康保険証(写) 等)
  - ・引受保険会社所定の診断書
  - ・診療状況申告書
  - ・公の機関(やむを得ない場合は第三者)等の事故証明書
  - ・死亡診断書
  - ・他から支払われる保険金・給付金等の額を確認する書類
- 事故の内容、損害額等に応じて上記の書類以外の書類をご提出いただくようお願いすることがあります。

### <代理請求人について>

- 高度障害状態となり、意思能力を喪失した場合など、被保険者に保険金を請求できない事情があり、かつ、保険金を受け取るべき被保険者の代理人がいけない場合には、引受保険会社の承認を得て、その被保険者と同居または生計を共にする配偶者(\*)等(以下「代理請求人」といいます。詳細は(注)をご参照ください。)が保険金を請求できることがあります。詳細は取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。また、**本内容については、代理請求人となられる方にも必ずご説明ください。**

### (注)①「被保険者と同居または生計を共にする配偶者(\*)」

- ② 上記①に該当する方がいないまたは上記①に該当する方に保険金を請求できない事情がある場合  
「被保険者と同居または生計を共にする3親等内の親族」
- ③ 上記①、②に該当する方がいないまたは上記①、②に該当する方に保険金を請求できない事情がある場合  
「上記①以外の配偶者(\*)」または「上記②以外の3親等内の親族」

(\*) 法律上の配偶者に限ります。

## 団体総合生活補償保険に関するご注意

- ご加入にあたって特に重要な事項を、「重要事項のご説明」にてご説明しておりますので、内容を十分ご確認ください。
- この保険は一般社団法人 全国青色申告会総連合が保険契約者となる団体契約です。ご加入の内容は、保険の種類に応じた普通保険約款および特約によって定まります。詳細は普通保険約款および特約をご確認ください。また、ご不明な点については、ご所属の青色申告会を通して取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。
- お客さまのご加入内容が登録されることがあります。  
損害保険制度が健全に運営され、死亡保険金、後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金等のお支払いが正しく確実に行われるよう、これらの保険金のある保険契約について、一般社団法人 日本損害保険協会が運営する契約内容登録制度への登録を実施しております。
- 「同種の危険を補償する他の保険契約等」(\*)がある場合は、加入申込票の「他の保険契約等」欄に必ずご記入ください。  
(\*) 「同種の危険を補償する他の保険契約等」とは、団体総合生活補償保険、普通傷害保険等をいい、いずれも積立保険を含みます。また、他の保険会社等における契約、共済契約、生命保険契約等を含みます。
- この保険の保険期間は1年間となります。次のような場合には、保険期間終了後、継続加入できないことや補償内容を変更させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。  
○著しく保険金請求の頻度が高いなど、加入者相互間の公平性を逸脱する極端な保険金支払またはその請求があった場合
- 引受保険会社が、普通保険約款・特約、保険契約引受に関する制度または保険料率等を改定した場合、改定日以降の日を始期日とする継続契約につきましては、その始期日における普通保険約款・特約、保険契約引受に関する制度または保険料率等が適用されます。そのため、継続契約の補償等の内容や保険料が継続前の保険契約と異なること、または継続加入できないことがあります。あらかじめご了承ください。
- ご加入いただいた後にお届けする加入者証は、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保険料は前年度ご加入いただいた被保険者の人数に従って割引率が適用されます。

- 半年ごとの掛金のうち、団体総合生活補償保険の保険料、共済掛金・制度運営費の内訳は下記のとおりです。

口数	掛金	内訳【65才6ヵ月以下の方】		
		保険料	共済掛金・制度運営費	参考：一時払保険料(一年分)
1口	7,500円	6,670円	830円	13,340円
2口	15,000円	13,335円	1,665円	26,670円
3口	22,500円	20,005円	2,495円	40,010円

口数	掛金	内訳【65才6ヵ月超の方】		
		保険料	共済掛金・制度運営費	参考：一時払保険料(一年分)
1口	7,500円	5,665円	1,835円	11,330円
2口	15,000円	11,325円	3,675円	22,650円

### <経営破綻した場合等の保険契約者の保護について>

引受保険会社の経営が破綻した場合など保険会社の業務または財産の状況の変化によって、ご加入時にお約束した保険金・解約返れい金等のお支払いが一定期間凍結されたり、金額が削減されることがあります。

引受保険会社が経営破綻に陥った場合の保険契約者保護の仕組みとして、「損害保険契約者保護機構」があり、引受保険会社も加入しております。この保険は「損害保険契約者保護機構」の補償対象となりますので、引受保険会社が破綻した場合でも、次のとおり補償されます。

(注) 共済部分は「損害保険契約者保護機構」の対象ではありません。

保険金、解約返れい金等は80%まで補償されます。ただし、破綻前に発生した事故および破綻時から3ヵ月までに発生した事故による保険金は100%補償されます。

## ご加入内容確認事項

### ご加入手続きに際し、以下の事項を十分にご確認ください。

本確認事項は、万一の事故の際に安心して保険をご利用いただけるよう、ご提案いたしました保険商品がお客さまのご希望に合致した内容であること、ご加入いただくうえで特に重要な事項を正しくご記入いただいていることを確認させていただくためのものです。お手数ですが、以下の各質問項目について、再度ご確認くださいませようようお願い申し上げます。なお、ご加入にあたりご不明な点や疑問点がございましたら、ご所属の青色申告会を通して、パンフレット記載の取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。

#### 1 保険商品が以下の点でお客さまのご希望に合致した内容となっていることをパンフレット・重要事項のご説明でご確認ください。万一、ご希望に合致しない場合は、ご加入内容を再度ご確認ください。

- 保険金のお支払事由(主契約、セットしている特約を含みます。)
- 保険金額(ご契約金額)
- 保険期間(保険のご契約期間)
- 保険料・保険料払込方法

#### 2 加入申込書(票)への記載・記入の漏れ・誤りがないかご確認ください。

以下の項目は、正しい保険料の算出や適切な保険金のお支払等に必要な項目です。内容をよくご確認ください、加入申込書(票)に正しくご記入いただきますようお願い申し上げます。  
記載・記入の漏れ・誤りがある場合には、訂正あるいは追記をお願いいたします。

皆さまがご確認ください。

- 加入申込書(票)の「生年月日」欄は正しくご記入いただいていますか?
- 加入申込書(票)の「他の保険契約等」欄は正しくご記入されていますか?
- 加入申込書(票)の職業・職種欄(「職種級別」欄を含みます。)は正しくご記入いただいていますか?

#### 3 次のいずれかに該当する場合には「加入申込書(票)」のご提出が必要ですのでご確認ください。

- この保険制度に新規加入される場合
- 既にご加入されているがご継続されない場合
- 既にご加入の内容を変更してご継続される場合(被保険者の変更、補償内容の変更など)

## 重要事項のご説明

### 契約概要のご説明(傷害補償(MS&AD型)特約付団体総合生活補償保険)

- ご加入に際して特にご確認いただきたい事項をこの「契約概要」に記載しています。ご加入される前に必ずお読みいただき、ご加入くださいますようお願いいたします。
- 申込人と被保険者(補償の対象者)が異なる場合には、この書面に記載の事項につき、被保険者の方にも必ずご説明ください。
- この書面はご加入に関するすべての内容を記載しているものではありません。ご加入の内容は、普通保険約款・特約等によって定まります。ご不明な点については、取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。
- 取扱代理店は、引受保険会社との委託契約に基づき、保険契約の締結・保険料の領収・保険料領収証の交付・契約の管理業務等の代理業務を行っております。したがって、取扱代理店にお申込みいただき有効に成立したご契約につきましては、引受保険会社と直接契約されたものとなります。

#### 1. 商品の仕組みおよび引受条件等

##### (1) 商品の仕組み

- ①この保険は、被保険者(補償の対象者)が事故によりケガをされた場合等に保険金をお支払いします。
- ②被保険者となる方は加入申込書の被保険者欄記載の方(以下、「本人」といいます。)です。

##### (2) 補償内容

保険金をお支払いする場合はパンフレット4～6ページのとおりです。詳細は普通保険約款・特約に基づきます。

- ①保険金をお支払いする場合(支払事由)と保険金のお支払額  
パンフレット4～6ページをご参照ください。
- ②保険金をお支払いしない主な場合(主な免責事由)  
パンフレット5～6ページをご参照ください。なお、詳細は普通保険約款・特約の「保険金を支払わない場合」の項目に記載されております。

##### (3) セットできる主な特約およびその概要

パンフレット4～6ページをご参照ください。特約の内容の詳細は普通保険約款・特約に基づきます。

##### (4) 保険期間

この保険の保険期間は、1年間です。お客さまが実際にご加入いただく保険期間については、加入申込書の保険期間欄にてご確認ください。

##### (5) 引受条件

ご加入いただく保険金額につきましては、次の点にご注意ください。お客さまが実際にご加入いただく保険金額につきましては、パンフレット3ページの保険金額欄および加入申込書、普通保険約款・特約等にてご確認ください。

・保険金額は被保険者(補償の対象者)の方の年齢・年収などに照らして適正な金額となるように設定してください。場合により、お引受できない保険金額・ご加入条件等もありますのであらかじめご承知おきください。

##### 2. 保険料

保険料は保険金額・ご加入いただいた被保険者の人数等によって決定されます。お客さまが実際にご加入いただく保険料につきましては、パンフレット7ページの保険料欄にてご確認ください。

##### 3. 保険料の払込方法について

パンフレット4ページをご参照ください。(団体と引受保険会社の契約は一時払です。)

##### 4. 満期返れい金・契約者配当金

この保険には満期返れい金・契約者配当金はありません。

##### 5. 解約返れい金の有無

ご契約の解約に際しては、ご契約時の条件により、保険期間のうち未経過であった期間の保険料を解約返れい金として返還いたします。始期日から解約日までの期間に応じて払込みいただくべき保険料の払込状況により追加のご請求をさせていただく場合があります。パンフレット10ページの「注意喚起情報のご説明」の「7. 解約と解約返れい金」をご参照ください。



この保険商品に関するお問い合わせは

【取扱代理店】(株)ゼンアオイロ TEL 03-3294-2301

三井住友海上へのご相談・苦情・お問い合わせは

「三井住友海上お客さまデスク」 0120-632-277(無料)  
 受付時間:平 日 9:00~20:00  
 土日・祝日 9:00~17:00(年末・年始は休業させていただきます。)

万一、ケガをされた場合は

ご所属の青色申告会を通して、  
 取扱代理店または  
 事故受付センターまで、  
 ご連絡ください。

24時間365日事故受付サービス  
 「三井住友海上事故受付センター」  
 0120-258-189(無料)  
 事故はいち早く

指定紛争解決機関

引受保険会社は、保険業法に基づく金融庁長官の指定を受けた指定紛争解決機関である一般社団法人 日本損害保険協会と手続実施基本契約を締結しています。引受保険会社との間で問題を解決できない場合には、一般社団法人 日本損害保険協会にご相談いただくか、解決の申し立てを行うことができます。

一般社団法人 日本損害保険協会 そんぽADRセンター  
 0570-022-808(セ「グ」イロ(有料))  
 受付時間:平日 9:15~17:00

詳しくは、一般社団法人 日本損害保険協会のホームページをご覧ください。  
 (http://www.sonpo.or.jp/)

注意喚起情報のご説明(傷害補償(MS&AD型)特約付団体総合生活補償保険)

- ご加入に際して被保険者にとって不利益になる事項等、特にご注意いただきたい事項をこの「注意喚起情報」に記載しています。ご加入される前に必ずお読みいただき、ご加入くださいますようお願いいたします。
- 申込人と被保険者(補償の対象者)が異なる場合には、この書面に記載の事項につき、被保険者の方にも必ずご説明ください。
- この書面はご加入に関するすべての内容を記載しているものではありません。ご加入の内容は、普通保険約款・特約等によって定まります。ご不明な点については、取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。
- 取扱代理店は、引受保険会社との委託契約に基づき、保険契約の締結・保険料の領収・保険料領収証の交付・契約の管理業務等の代理業務を行っております。したがって、取扱代理店にお申込みいただき有効に成立したご契約につきましては、引受保険会社と直接契約されたものとなります。

1. ご契約申込みの撤回等(クーリングオフ)

この保険は一般社団法人 全国青色申告会総連合が保険契約者となる団体契約であることからクーリングオフの対象となりません。

2. 告知義務等

(1)ご加入時における注意事項(告知義務-加入申込票の記入上の注意事項)

被保険者(補償の対象者)には、ご加入時に危険に関する重要な事項として引受保険会社が告知を求めたもの(告知事項)について事実を正確に告知いただく義務(告知義務)があり、取扱代理店には告知受領権があります(取扱代理店に対して告知いただいた事項は、引受保険会社に告知いただいたものとなります。)。加入申込票に記載された内容のうち、※印がついている項目が告知事項です。この項目が、故意または重大な過失によって事実と異なっている場合、または事実を記入しなかった場合には、ご加入を解除し、保険金をお支払いできないことがありますので、加入申込票の記入内容を必ずご確認ください。次の事項について十分ご注意ください。

●他の保険契約等<sup>(\*)</sup>に関する情報

(\*)同種の危険を補償する他の保険契約等で、団体総合生活補償保険、普通傷害保険等をいい、いずれも積立保険を含みます。また、他の保険会社等における契約、共済契約、生命保険契約等を含みます。

(2)その他の注意事項

■同種の危険を補償する他の保険契約等<sup>(\*)</sup>で、過去3年以内に合計して5万円以上保険金を請求または受領されたことがある場合は、加入申込票の保険金請求履歴欄にその内容を必ず記入してください。

(\*)「同種の危険を補償する他の保険契約等」とは、団体総合生活補償保険、普通傷害保険等をいい、いずれも積立保険を含みます。また、他の保険会社等における契約、共済契約等を含みます。

■保険金受取人について

保険金受取人	傷害死亡保険金	・傷害死亡保険金は、特に傷害死亡保険金受取人を定めなかった場合には、被保険者の法定相続人にお支払いします。 (注)傷害死亡保険金受取人を法定相続人以外の方に定める場合、被保険者の同意を確認するための署名などをいただきます。なおこの場合、保険契約者と被保険者が異なるご契約を被保険者の同意のないままにご契約されていたときは、保険契約が無効となります。また、ご契約後に傷害死亡保険金受取人を変更する場合も、被保険者の同意を確認するための署名などをいただきます。
	上記以外	・普通保険約款・特約に定めております。

■ご加入後、申込人の住所などを変更される場合は、遅滞なくご通知いただく必要があります。ご通知いただけない場合は、重要なお知らせやご案内ができないこととなります。

■被保険者が保険契約者以外の方である場合に、次のいずれかに該当するときは、被保険者は保険契約者にこの保険契約<sup>(\*)</sup>の解約を求めることができます。この場合、保険契約者はこの保険契約<sup>(\*)</sup>を解約しなければなりません。

- ①この保険契約<sup>(\*)</sup>の被保険者となることについて、同意していなかった場合
  - ②保険契約者または保険金を受け取るべき方に、次のいずれかに該当する行為があった場合
    - ・引受保険会社に保険金を支払わせることを目的としてケガ等を生じさせ、または生じさせようとしたこと。
    - ・保険金の請求について詐欺を行い、または行おうとしたこと。
  - ③保険契約者または保険金を受け取るべき方が、暴力団関係者、その他の反社会的勢力に該当する場合
  - ④他の保険契約等との重複により、保険金額等の合計額が著しく過大となり、保険制度の目的に反する状態がもたらされるおそれがあること。
  - ⑤②~④の場合と同程度に被保険者の信頼を損ない、この保険契約<sup>(\*)</sup>の存続を困難とする重大な事由を生じさせた場合
  - ⑥保険契約者と被保険者との間の親族関係の終了等により、この保険契約<sup>(\*)</sup>の被保険者となることについて同意した事情に著しい変更があった場合
- また、①の場合は、被保険者が引受保険会社に解約を求めることができます。その際は被保険者であることの証明書類等の提出が必要となります。
- (\*)保険契約 その被保険者に係る部分に限ります。

3. 補償の開始時期

始期日の午後4時に補償を開始します。保険料は、パンフレット4ページ記載の方法により払込みください。パンフレット4ページ記載の方法により保険料を払込みいただけない場合には、保険期間が始まった後であっても、保険金をお支払いしません。

#### 4. 保険金をお支払いしない主な場合(主な免責事由)等

##### (1) 保険金をお支払いしない主な場合

パンフレット5～6ページをご参照ください。なお、保険金を支払わない場合の詳細は普通保険約款・特約の「保険金を支払わない場合」の項目に記載されておりますのでご確認ください。

##### (2) 重大事由による解除

次のことがあった場合は、ご契約を解除し、保険金をお支払いできないことがあります。

- ① 引受保険会社に保険金を支払わせることを目的としてケガ等を生じさせ、または生じさせようとしたこと。
- ② 保険金の請求について詐欺を行い、または行おうとしたこと。
- ③ 暴力団関係者、その他の反社会的勢力に該当すると認められたこと。
- ④ 他の保険契約等との重複により、保険金額等の合計額が著しく過大となり、保険制度の目的に反する状態がもたらされるおそれがあること。
- ⑤ 上記のほか、①～④と同程度に引受保険会社の信頼を損ない、保険契約の存続を困難とする重大な事由を生じさせたこと。

#### 5. 保険料の払込猶予期間等の取扱い

保険料は、パンフレット4ページ記載の方法により払込みください。パンフレット4ページ記載の方法により保険料を払込みいただけない場合には、保険金をお支払いできないことがあります。また、ご契約を解除させていただくことがあります。

##### この保険商品に関するお問い合わせは

【取扱代理店】(株)ゼンアオイロ TEL 03-3294-2301

##### 三井住友海上へのご相談・苦情・お問い合わせは

「三井住友海上お客さまデスク」 0120-632-277(無料)

受付時間:平 日 9:00~20:00

土日・祝日 9:00~17:00(年末・年始は休業させていただきます。)

##### 万一、ケガをされた場合は

ご所属の青色申告会を通して、取扱代理店または事故受付センターまで、ご連絡ください。

24時間365日事故受付サービス  
「三井住友海上事故受付センター」  
0120-258-189(無料)  
事故はいち早く

#### 6. 失効について

ご加入後に、被保険者が死亡された場合には、この保険契約は失効となります。なお、傷害死亡保険金をお支払いする場合に該当しない事由の死亡による失効のときは、未経過期間分の保険料を返還します。

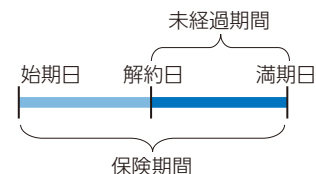
#### 7. 解約と解約返れい金

ご加入を途中で脱退(解約)される場合は、取扱代理店または引受保険会社に速やかにお申出ください。

・脱退(解約)日から満期日までの期間に応じて、解約返れい金を返還させていただきます。

ただし、解約返れい金は原則として未経過期間分よりも少なくなります。

・始期日から脱退(解約)日までの期間に応じて払込みいただくべき保険料について、追加のご請求をさせていただきますことがあります。



#### 8. 保険会社破綻時等の取扱い

パンフレット7ページをご参照ください。

##### 指定紛争解決機関

引受保険会社は、保険業法に基づく金融庁長官の指定を受けた指定紛争解決機関である一般社団法人 日本損害保険協会と手続実施基本契約を締結しています。引受保険会社との間で問題を解決できない場合には、一般社団法人 日本損害保険協会にご相談いただくか、解決の申し立てを行うことができます。

一般社団法人 日本損害保険協会 そんぽADRセンター  
0570-022-808(ナビダイヤル(有料))  
受付時間:平日 9:15~17:00

詳しくは、一般社団法人 日本損害保険協会のホームページをご覧ください。  
(<http://www.sonpo.or.jp/>)

# 申込票記載例

加入申込日  
平成〇年×月△日

ご加入いただける最大口数は加入者の生年月日により異なります。

- 平成26年12月スタート申込時**  
昭和24年6月2日から  
平成12年6月1日……………3口
- 昭和19年6月2日から  
昭和24年6月1日……………2口
- 昭和14年6月2日から  
昭和19年6月1日……………1口

- 平成27年6月スタート申込時**  
昭和24年12月2日から  
平成12年12月1日……………3口
- 昭和19年12月2日から  
昭和24年12月1日……………2口
- 昭和14年12月2日から  
昭和19年12月1日……………1口

フリガナ	アオイロ ショウテン		フリガナ	アオイロ タロウ	
事業所名	青色 商店		事業主名	青色 太郎	
郵便番号	フリガナ	チヨダク カンダスルガダイ			
101-0062	事業所	市	千代田	区	町 神田駿河台2-9
事業所	(市外局番) - (市内局番) - (電話番号)				
電話番号	03 - 3294 - 2301				

加入者(被保険者)氏名	区分	生年月日	加入口数	①職業・職務	※②他の保険契約等	他の保険契約等の有無	保険種類	保険会社	死亡・後遺障害 保険金額	傷害入院 保険金日額	傷害通院 保険金日額
フリガナ アオイロ タロウ 青色 太郎	事業主 専従者 従業員 その他( )	昭和26年1月1日	3	青果販売	あり	あり	交通事故 傷害	三井住友 海上	11.7万円	1,450円	700円
フリガナ アオイロ ハナコ 青色 花子	事業主 専従者 従業員 その他( )	昭和23年3月3日	2	事務職	あり			保険会社	万円	円	円
フリガナ アオイロ ジロウ 青色 二郎	事業主 専従者 従業員 その他( )	昭和45年5月5日	1	販売職	あり			保険会社	万円	円	円
フリガナ アオイロ アネコ 青色 明子	事業主 専従者 従業員 その他( 二郎の妻 )	昭和45年5月23日	1	主婦	あり			保険会社	万円	円	円

区分がその他の場合はカッコ内に続柄を記入ください。 職業・職務欄は必ず具体的かつ簡潔に記入ください。

× (切り取り)

平成26年12月または平成27年6月補償開始時のみ使用

## 全青色傷害加入申込票

「※」の項目はご契約に際して引受保険会社がおたずねする特に重要な事項(告知事項)です。事実と相違する場合は、ご契約を解除し、保険金をお支払いできないことがありますので、十分にご確認のうえご回答(記入)ください。  
「重要事項のご説明」ならびに「ご加入内容確認事項」について確認するとともに、個人情報の取扱いに同意のうえ加入を申し込みます。また、告知事項の内容は事実と相違なく、申込票記載事項が事実と相違する場合は、保険金が支払われないことがあることに同意します。

明細番号	
県番号	事業所番号
0000	

所 属 コード	県	税 連	地 区	支 部

加入申込日
平成 年 月 日

フリガナ	フリガナ	印
事業所名	事業主名 (申込人)	
郵便番号	フリガナ	
-	事業所 住 所	市 区 町 郡 村
事業所 電話番号	(市外局番) - (市内局番) - (電話番号)	
-	-	

申 込 区 分
新規 : 追加 : 増口

地 区 会 名	補 償 開 始
	平成 年 月 1日

「あり」の場合必ずご記入ください(ご記入のない場合には、「なし」と回答したことになります。)

加入者(被保険者)氏名	区分	生年月日	加入口数	①職業・職務	※②他の保険契約等	他の保険契約等の有無	保険種類	保険会社	死亡・後遺障害 保険金額	傷害入院 保険金日額	傷害通院 保険金日額
フリガナ	事業主 専従者 従業員 その他( )	昭 年 月 日 平	口		あり	あり			万円	円	円
フリガナ	事業主 専従者 従業員 その他( )	昭 年 月 日 平	口		あり			保険会社	万円	円	円
フリガナ	事業主 専従者 従業員 その他( )	昭 年 月 日 平	口		あり			保険会社	万円	円	円
フリガナ	事業主 専従者 従業員 その他( )	昭 年 月 日 平	口		あり			保険会社	万円	円	円

「あり」の場合必ずご記入ください(ご記入のない場合には、「なし」と回答したことになります。)

保険金請求歴	被保険者氏名	保険会社名	回数	合計金額
過去3年以内に病気またはケガで保険金(5万円以上)請求または受領したことがありますか。				
(注)他の保険会社等への保険金請求歴を含みます。	あり			

× (切り取り)

## 傷害保険金お支払い例

### お支払い例 1

教習所でバイクで転倒、骨折。  
入院中に接合手術、5日間入院。



40才 2口加入

お支払いされた保険金

- 傷害入院保険金日額 6,000円×5日間=30,000円
- 傷害手術保険金額 60,000円

☎ 受取保険金合計 =90,000円

### お支払い例 2

電球を取り替える際、バランスを崩し落下。  
脊ついを圧迫骨折、安静治療。3ヵ月入院。



35才 2口加入

お支払いされた保険金

- 傷害入院保険金日額 6,000円×90日間  
=540,000円

☎ 受取保険金 =540,000円

### お支払い例 3

厨房で火傷。14日通院。



60才 1口加入

お支払いされた保険金

- 傷害通院保険金日額 1,500円×14日間  
=21,000円

☎ 受取保険金 =21,000円

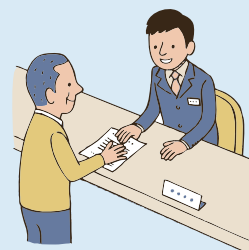
4	犬の散歩中、犬に引っ張られて転倒。手首を骨折。7日通院。(27才、1口加入) 10,500円
5	垣根の剪定後、台から過って飛び降り踵を骨折。3日入院し、10日通院。(50才、3口加入) 27,000円+45,000円
6	冬の散歩中、凍った路面で転倒し、ケガをした。46日通院。(62才、2口加入) 138,000円
7	自転車で転倒し骨折。入院中に手術、24日間入院。(68才、1口加入) 30,000円+72,000円
8	床工事中にハンマーで自分の指を強打し、ケガをした。10日通院。(43才、1口加入) 15,000円
9	工事中に目に異物が入り、治療を受けた。2日通院。(38才、3口加入) 9,000円
10	歩行中、自転車との接触を避け転倒し、ケガをした。55日通院。(50才、1口加入) 82,500円

## お申し込み方法

加入申込票・口座振替依頼書に  
パンフレットP11記載の記入例を参考にして  
必要事項をご記入・押印ください。



ご所属の青色申告会へお申し込みください。



## 事故にあわれたら

ご所属の青色申告会を通して、  
取扱代理店または引受保険会社へご連絡ください。

